

平成 25 年度犬山さくら保育園事業報告書

1. 基本理念

〈こんな保育園をめざしています〉

- ① 子どもたちに豊かな生活環境を保障していきます。
 - ・昨年度に引き続き子ども主体の保育、子どもの思いに寄り添うことの理解と実践に取り組みました。ビデオ研修や保育のまとめを伊藤なをみ先生と共に学習し、保育環境を見直しました。
- ② 子育てのパートナーとして、保護者が安心して預けることのできる保育園をめざします。
 - ・一日保育士体験を取入れ、保護者にわが子のクラスの保育士として1日過ごしていただき、保育内容への理解をすすめました。
- ③ 職員が生き生きと働き続けられる保育園をめざします。
 - ・病休者2名（メンタル1名、内科1名）を出してしまいました。定期的なメンタルチェックや職員健診だけでなく、「健康」への意識づくりの必要性を感じました。
- ④ 地域に根ざした子育て支援センターをめざします。
 - ・昨年に引き続き、絵本や遊びの紹介、散歩、給食試食会に取り組みました。参加者の力を借りて「病気のときの手当」についても学習しました。

2. 保育園内の役割分担を明確にし、遂行する。

- ・手作りおもちゃの会係り：若手職員を中心に、犬山市・大口町の職員に呼びかけ開催しました。1回しかできませんでしたが、好評でした。

3. 各種会議の充実を図り、決定事項を全員のものにする。

- ・調理員会議（調理員、パート調理員、園長、主任）を年3回開くことができました。

4 地域に向けて子育て支援活動に取り組む。

- ・赤ちゃんひろば 毎週火曜日・なかよしひろば 毎週木曜日を開催し、広場担当職員の位置付けを明確にし、遊びや絵本の紹介、食べさせ方講習会等を実施し好評でした。
- ・地域のお母さんと連携し四季の丘集会所で広場を開催しました。広場担当者を送り出す体制が作れず継続できませんでした。

5.職員の資質向上をめざし研修に取り組む。

- ・伊藤なをみ先生と共に「子どもの発達と保育環境づくり」「子どもの見方」について学習しました。また「保育のまとめ」も共に行い、子どもの見方について深く学ぶことができました。

6.保育設備

- ・増改築工事にむけて準備してきました。愛知県子育て支援対策基金事業費補助金(保育所緊急整備事業)を活用して25年3月～26年12月の予定で工事が始まっています。

7.資金の計画

- ・通常経費は、運営費収入および補助金収入及び利用料収入で賄いました。